

平成23年度中間決算について

本州四国連絡高速道路株式会社の平成23年度(第7期)中間決算についてお知らせします。

1. 決算概要

2. 決算資料

[個別決算]

- ・ 中間貸借対照表
- ・ 中間損益計算書
- ・ 中間株主資本等変動計算書
- ・ 個別注記表

[連結決算]

- ・ 中間連結貸借対照表
- ・ 中間連結損益計算書
- ・ 中間連結株主資本等変動計算書
- ・ 連結注記表

※弊社の中間決算は、金融商品取引法に基づいて作成したのではなく、
情報開示等の目的で任意に作成したものです。

平成23年12月22日
本州四国連絡高速道路株式会社



平成23年度中間決算概要

(平成23年4月1日～平成23年9月30日まで)

- 平成23年度事業概要
- 平成23年度経営及び財政状況(連結・個別)
- 平成23年度業績見通し(連結・個別)

事業概要(高速道路事業)

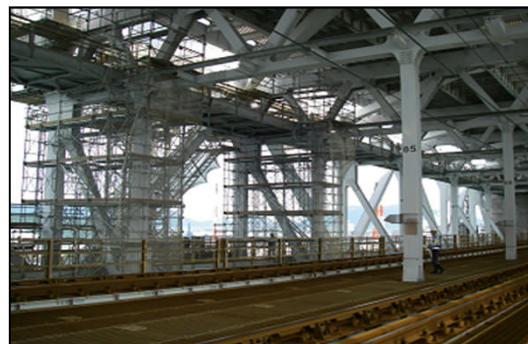
お客様に**[安全]** **[安心]** **[快適]**に利用していただけるよう、円滑に業務を実施しました。

- 当中間期の通行台数は1,982万台(前年同期比0.7%減)、料金収入は306億円(前年同期比7%増)となりました。
- 道路資産賃借料は、機構への支払額が増加し、前年同期と比べ15億円増の201億円となりました。
- 利便増進計画の見直しにより、休日上限(1,000円)割引は終了(H23.6.19)しましたが、休日終日割引(50%)、平日時間帯割引等は、継続しています。
- より快適にご利用いただくため、大規模な舗装補修工事に着手しております。また、長大橋塗替塗装、耐震補強などの修繕工事を実施するとともに、道路清掃等の維持作業や構造物補修・取替えなど適切な維持補修を実施しております。

舗装補修



長大橋塗替塗装(瀬戸大橋)



橋梁耐震補強(撫養橋)



事業概要(関連事業)

- お客様サービス向上のため、SA・PA施設の整備・充実及び混雑対策等を実施しました。
 - 淡路島南PA(上り)休憩施設のリニューアル
 - 淡路SA売店(下り)及び給油所(上り)の24時間営業化
 - SA・PAに仮設トイレの設置、駐車場に交通整理員を配置(混雑期)
- 長大橋の建設・管理技術を活用して、地方公共団体等から長大橋の施工検討、技術支援業務等を受託しました。

淡路島南PA(上り)休憩施設のリニューアル



混雑期対策(仮設トイレ・交通整理)



経営状況の総括

(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)

連結中間決算における経常利益は31億円、特別利益・特別損失・法人税等を加減した結果、中間純利益は16億円となりました。

単位:億円

	連結中間決算				個別中間決算			
	平成23年度	平成22年度	増(△)減	前年比 (%)	平成23年度	平成22年度	増(△)減	前年比 (%)
営業収益	329	311	17	5.6	321	303	18	5.9
営業費用	299	289	9	3.2	292	283	9	3.3
営業利益	29	21	8	38.9	28	19	8	42.6
経常利益	31	22	8	37.6	29	20	8	41.8
中間純利益	16	9	6	63.8	14	8	6	68.5

[連結対象子会社]

会社名	主な事業
JBハイウェイサービス(株)	料金收受管理、交通管理、SA・PA事業 等
(株)ブリッジ・エンジニアリング	点検管理、長大橋維持修繕 等
JBツールシステム(株)	料金收受機械保守整備、料金収入・交通量のデータ管理 等

高速道路事業の損益状況

- 料金収入(306億円)及び道路資産売上高(10億円)などの営業収益317億円に対し、道路資産賃借料(201億円)、道路資産完成原価(10億円)及び管理費用(79億円)の営業費用が291億円となり、営業利益は26億円となりました。

単位:億円

	連結中間決算				個別中間決算			
	平成23年度	平成22年度	増(△)減	前年比 (%)	平成23年度	平成22年度	増(△)減	前年比 (%)
営業収益	317	300	17	5.7	317	300	17	5.8
料金収入	306	286	20	7.0	306	286	20	7.0
道路資産完成高	10	13	△2	△19.7	10	13	△2	△19.7
その他の売上高	0.6	0.7	△0.07	△9.9	0.5	0.5	△0	△1.3
営業費用	291	282	8	3.0	289	280	8	3.2
道路資産賃借料	201	186	15	8.2	201	186	15	8.2
道路資産完成原価	10	13	△2	△19.7	10	13	△2	△19.7
管理費用	79	83	△4	△4.8	77	81	△3	△4.6
営業利益	26	18	8	47.9	28	19	8	42.6

関連事業の損益状況

- 休憩所等事業収入(8億円)及び受託事業等収入(2億円)などの営業収益11億円に対し、休憩所等事業費用(5億円)及び受託事業等費用(3億円)の営業費用が8億円となり、営業利益は3億円となりました。

単位:億円

	連結中間決算				個別中間決算			
	平成23年度	平成22年度	増(△)減	前年比 (%)	平成23年度	平成22年度	増(△)減	前年比 (%)
営業収益	11	10	0.3	3.2	3	2	0.5	20.5
休憩所等事業	8	8	△0.3	△3.9	1	1	0	0.2
受託事業等	2	2	0.6	30.2	1	0.7	0.5	72.1
営業費用	8	7	0.6	8.8	3	2	0.5	20.8
休憩所等事業	5	5	0	0.1	1	1	0.04	2.5
受託事業等	3	2	0.6	27.0	1	1	0.5	48.6
営業利益	3	3	△0.2	△8.8	0.01	0.02	△0	△17.7
休憩所等事業	3	3	△0.3	△9.8	0.2	0.3	△0.03	△10.9
受託事業等	△0.06	△0.1	0.04	—	△0.2	△0.3	0.03	—

資産・負債の状況

- 高速道路事業については、ETC設備及び料金收受機械設備等を更新しました。
- 関連事業については、淡路島南PA(上り)休憩施設のリニューアル等を実施しました。
- 経営基盤強化のため、昨年に引続き遊休資産を売却しました。
- 資産の総額480億円に対し、負債の総額は323億円となり、純資産の総額は、前年度末から16億円増加した157億円となりました。

ETC 設備



淡路島南PA(上り)休憩施設



財政状況(貸借対照表)

(平成23年9月30日現在)

単位:億円

区 分	連結中間決算			個別中間決算		
	平成23年度 (中間期末)	平成22年度 (期末)	増(△)減	平成23年度 (中間期末)	平成22年度 (期末)	増(△)減
資 産	480	447	32	414	392	21
流動資産	234	214	20	205	195	10
固定資産	245	233	12	208	197	11
負 債	323	306	16	274	267	6
流動負債	121	97	24	100	86	14
固定負債	202	209	△7	174	181	△7
純資産	157	140	16	140	125	14
株主資本	157	140	16	140	125	14
資本金	40	40	0	40	40	0
資本剰余金	40	40	0	40	40	0
利益剰余金	77	60	16	60	45	14
(負債・純資産合計)	480	447	32	414	392	21

平成23年度業績見通しについて

平成23年度業績見通しは、連結で3億円、個別で0.2億円の利益を見込んでおります。

単位:億円

	連結業績見通し			個別業績見通し		
	平成23年度 (業績見通し)	平成22年度 (決算)	増(△)減	平成23年度 (業績見通し)	平成22年度 (決算)	増(△)減
営業収益	673	642	30	657	625	32
高速道路事業	638	610	28	638	610	28
関連事業(うち休憩所等事業)	35(14)	32(14)	2(△0.7)	19(4)	15(3)	3(0.01)
営業費用	669	634	35	657	621	36
高速道路事業	639	607	31	639	606	33
関連事業(うち休憩所等事業)	30(11)	26(10)	4(0.2)	18(3)	14(2)	4(0.3)
営業利益	4	8	△5	0.2	4	△5
高速道路事業	△1	2	△3	△1	3	△4
関連事業(うち休憩所等事業)	4(4)	5(4)	△1(△0.8)	1(0.7)	1(0.9)	△0.3(△0.3)
経常利益	7	10	△4	2	6	△4
当期純利益	3	3	△0.2	0.2	0.5	△0.4

※平成23年度業績見通しについては、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。したがって、実際の業績は、様々な要因によって異なる場合があります。